



尿路結石症の治療

～10人に1人がかかるといわれている身近な病気です～

尿路結石症

尿の中に含まれるカルシウム・シュウ酸・リン酸・尿酸などが結晶化して石になってしまう病気です。

結石のある場所によって腎結石・尿管結石・膀胱結石・尿道結石と呼ばれ、それらを総称して尿路結石といいます。

● 治療の種類と特徴 ●

■体外衝撃波結石破碎術(ESWL)

最も負担が少ない治療法の1つです。レントゲンで結石の位置を確認しながら、体外から結石に衝撃波をあて、体に傷をつけることなく、結石を粉々に砕く治療方法です。砂状になった結石は、尿と一緒に体外に排出されます。衝撃波を受けている間は多少の痛みが伴いますが、当院が使用している装置は電磁変換方式と呼ばれる方式で、痛みが少ないと定評があります。入院期間は通常1泊2日で行っています。



体外衝撃波結石破碎装置

■経尿道的尿管結石破碎術(TUL)

細い内視鏡を尿管内に挿入し、直接レーザーを当てて、結石を細かく破碎してから取り出す治療方法です。TULは自然に結石を排出させるのではなく、取り出すことができる点において優れた治療だといえます。

麻酔を使用しますので、入院期間は通常3泊4日程度が必要です。

■経皮的腎碎石術(PNL)

2cm以上の大きな結石に対して行う治療です。結石のある側の背中に小さな穴(腎瘻^{じんろう})を開けて、腎臓内に内視鏡を挿入して破碎装置で破碎し、結石を取り出します。大きな結石は内部に多量の菌を保有している場合が多く、破砕片が体内に残ると重篤な感染症に発展してしまうことがあるために、一度の治療で結石を多く減らすことができる治療が必要になります。当院はTULと同時施行を行い、より安全性の高い治療を行っています。

■チーム医療で結石の再発防止に取り組んでいます

尿路結石症は再発率の高い病気です。再発を防ぐためには、食生活の改善が非常に重要です。

当院の尿路結石治療センターでは医師・看護師をはじめ、管理栄養士や薬剤師でチームを組み、生活指導や栄養指導を行っています。

尿路結石症で、不安や悩み事がある方は、お気軽に泌尿器科外来にお越しください。